

PortTech

電子レンジでも温められる
シリコン湯たんぽ(冷蔵庫対応)

1.0L : ベージュ/ピンク/サックス

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の際は、この取扱い説明書をよくお読みの上、正しい使い方で未永くご愛用ください。
この説明書はお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

原料樹脂：本体 シリコーン 【取扱い上の注意】

キャップ ポリカーボネート ●火のそばに置かないこと。

パッキン シリコーン ●水や湯は三分の二程度入れ、空気を抜いてキャップをしっかりと閉めて使用してください。

耐熱温度：本体 110°C ●長時間にわたり身体に密着して使用しないこと。

キャップ 110°C ●直火加熱不可

パッキン 110°C

容量：1.0L

布製カバー：ポリエチレン

《1.0L》

■商品サイズ(約)：220×135×厚さ70(mm)

■商品重量：約315g

コーナン商事株式会社

大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号

電子レンジ可能 直火加熱禁止 やけど注意

△ 使用上の注意

- 使用前に、パッキンが正常に取り付けられていることを確認してください。
- キャップは確実に閉め、湯が漏れないことを確認してから使用してください。
- 水枕として使用する際、冷水を注ぐ、または冷蔵庫で冷やしてお使いください。凍らせたり、氷を入れて使用しないでください。
- 水や湯は三分の二程度入れ、空気を抜いてキャップをしっかりと閉めて使用してください。空気を抜く際に、水や湯があふれ出る場合がありますのでご注意ください。(【使用方法1】・【使用方法2】)
- 電子レンジで温める際は、水を満杯まで入れて空気を抜いてください。空気を抜く際に水があふれ出る場合がありますのでご注意ください。※空気が残っていると加熱の際に空気が膨張して破裂する恐れがありますのでご注意ください。(【使用方法3】)
- 70°C以上の湯は使用しないでください。
- 付属の布製カバーに包んで使用してください。
- 付属の布製カバーのひもは、しっかりと確実に結んでください。
- 付属の布製カバーだけでは熱すぎる場合には、タオルなどに包んで調整してください。
- 濡れた布製カバー・タオルなどは使用しないでください。やけどの恐れがあります。
- パッキンは時々点検し、変形や亀裂などがある場合は交換してください。
- 湯を入れた湯たんぽは熱くなります。やけどの恐れがありますので、直接手を触れずに乾いた厚手の軍手・ミトン・タオルなどで取り扱ってください。
- やかんなどで湯を入れる際は、必ず湯たんぽを流し台のシンク内や、水切り台などの平らで水はけのよい場所に置き、湯が飛び散ったり、あふれ出たりしないように注意しながら、少量ずつゆっくりと湯を入れてください。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。やけどの恐れがあります。
- 湯たんぽの外側の水気をよく拭き取ってください。
- 長時間にわたり身体に密着して使用しないでください。低温やけどの原因となります。
- ファスナー式の布製カバーなどを使用する場合は、ファスナーパーツが直接身体に触れないように使用してください。
- 3歳未満の乳幼児には使用しないでください。
- 幼児（3歳以上）・高齢者・病人・身体の不自由な方・睡眠薬を服用された方・深酒をされた方などが使用する場合は、直接身体に触れたり、低温やけどの恐れがあります。
- 火のそばに置かないでください。変形や焼損の原因になります。
- 湯たんぽをコンロ・ヒーター・ストーブなどで直接加熱しないでください。
- 使用方法に従い、正しく安全にご使用ください。水や湯以外の液体は入れないでください。
- 使用した湯を飲まないでください。飲料用などには使用できません。
- 湯たんぽに全体重をかけて乗らないでください。
- 無理な力や落とす・ぶつけるなどの衝撃を加えないでください。

保管上の注意

- 水をよく切って、十分に乾燥させてから保管してください。
 - 直射日光や風のあたるところに放置しないでください。
- ※安全のため、湯たんぽに貼付の注意シールなどははがさないでください。

布製カバーの洗濯について

- ダンブルー乾燥は避けてください。
- 無蛍光洗剤をご使用ください。
- 生地の特性上、使用により毛抜けや風合いが変わることがあります。
- 毛羽立ちしますので、他のものとは分けて洗濯してください。

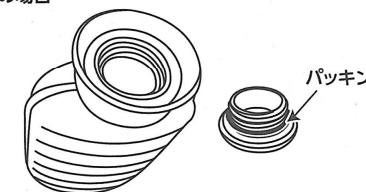
材質：ポリエチレン100%



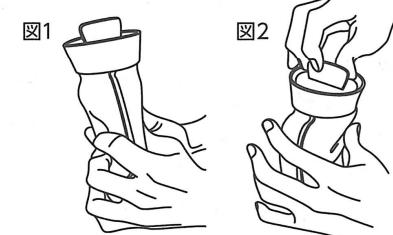
ご使用方法

使用方法1 湯を注いで湯たんぽとしてご使用の場合

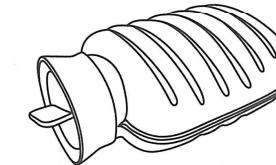
- 1.本体の注ぎ口から70°C未満の湯を三分の二程度入れてください。(キャップにパッキンが装着されていることを確認してください。70°C以上の湯を入れないでください。)空気を抜けるようにキャップを軽く閉めてください。



- 2.本体を絞って空気を抜きます。(図1)
キャップの周りに湯が出てきたら、空気が抜けていますのでキャップを閉めます。(図2)

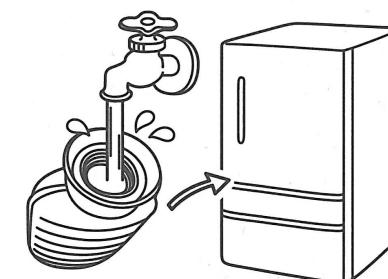


- 3.キャップはしっかりと閉めてください。
湯が漏れないことを確認して付属の布製カバーをつけてご使用ください。



使用方法2 水まくらとしてご使用の場合

- 1.本体の注ぎ口から冷水または水を三分の二程度入れ、空気を抜いてください。(凍らせたり、氷を入れて使用しないでください。空気を抜く際に、水があふれ出る場合がありますのでご注意ください。)



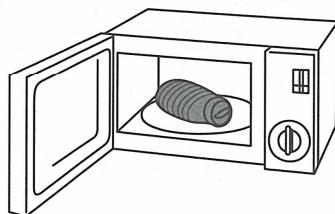
- 2.キャップを取り付ける前に必ずパッキンが装着されていることを確認してください。

- 3.キャップを回してしっかりと閉めてください。
水が漏れないことを確認してください。冷蔵庫に冷やしてもお使いいただけます。(凍らせたり、氷を入れたり、冷凍庫に入れたりしないでください。)

- 4.付属の布製カバーをつけてご使用ください。

※冷凍庫には入れないでください。

使用方法3 水を注いで電子レンジ使用で湯たんぽとしてご使用の場合



電子レンジでの温めかた

- ・カバーは外す
- ・水は満杯にする
- ・横向きで加熱
- ・オート(自動)加熱禁止
- ・7分を超える加熱禁止
- ・やけどに注意

- 1.水を満杯まで入れて空気を抜いてください。空気を抜く際に、水があふれ出る場合がありますのでご注意ください。※空気が残っていると加熱の際に空気が膨張して破裂する恐れがありますのでご注意ください。
- 2.キャップを取り付ける前に必ずパッキンが装着されていることを確認してください。
- 3.キャップを回してしっかりと閉めてください。水が漏れないことを確認した後、必ず本体を横にした状態で電子レンジに入れてください。
- 4.次の加熱時間を目安に電子レンジで温めてください。7分を超えて加熱しないでください。
※オート(自動)加熱は絶対にしないでください。オート(自動)加熱を行うと加熱時間が長くなり、キャップが熱で変形して蒸気が外へ漏れ出ることがあります。
- ※加熱時間中は常に本体状態を確認してください。過剰に膨らむ等、変形が認められた場合は直ちに加熱を停止してください。また、連続して加熱する場合はしばらくしてから行うか、連続加熱時間は合計7分以内にしてください。

電子レンジW数	加熱時間	3分	5分	7分
500W		36°C	40°C	48°C
700W		39°C	50°C	61°C
1000W		44°C	55°C	65°C

- 5.付属の布製カバーをつけてご使用ください。
- 6.温度が足りず、追加加熱する場合はやかんで加熱した70°C未満の湯をご使用ください。

△ 警告【重大な事故を防ぐために】

- 電子レンジを使用する際は水を満杯まで入れて空気を抜いてご使用ください。
- ※空気が残っていると加熱の際に空気が膨張して破裂する恐れがありますのでご注意ください。
- 電子レンジを使用する際は必ず湯たんぽを横置きでの使用をお願いいたします。
- 電子レンジでの加熱の際は以下の時間設定で調整してください。
- ※加熱時間が7分を超えないようにしてください。
- ※加熱時間が7分を超えると変形、溶解、破損の原因となりますので絶対にしないでください。
- 電子レンジでの加熱温度が足りない場合はやかんで加熱したお湯をご使用ください。
- オート(自動)加熱は絶対にしないでください。オート(自動)加熱を行うと加熱時間が長くなり、キャップが熱で変形して蒸気が外へ漏れ出ることがあります。
- 加熱中に異常があった場合、加熱を停止してください。すぐに電子レンジの扉を開けず、冷めてから取り出してください。
- 電子レンジの庫内は清掃し、ゴミや汚れが無い状態で加熱してください。
- 別のものと一緒に加熱することはせず、湯たんぽだけで加熱してください。

△ 低温やけどについて

■低温やけどとは

低温やけどとは、心地よく感じる程度(体温より少し温かい温度)のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおおよそ次のとおりです。

44°C	3時間から4時間
46°C	30分から1時間
50°C	2分から3分

(出典:山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会)



■低温やけどを防ぐために

●布団から出して使用する

布団が暖まったら、湯たんぽを布団から取り出して就寝すると、低温やけどの危険性はありません。このような使い方をおすすめします。



●湯たんぽの低温やけど対策用品を使う

低温やけど対策用品が市販されている場合には、それらを使用すると低温やけどの防止には効果的です。

●一定時間ごとに湯たんぽの位置を変える

保護者や介護者などの周囲の方がいる場合は、身体の同じ位置に触れ続けないよう、時々、湯たんぽの位置を変えてあげてください。

●厚手のタオルや布で包む

必ずしも低温やけどの防止には効果があるとは限りませんが、付属の布製カバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、低温やけどが生じるまでの時間は長くなります。

■万が一、低温やけどになったときは

低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、低温やけど(皮膚の変色や痛み)が起きたときは、すぐに専門医の診断を受けてください。

※この取扱い説明書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。また、いつでも再読できるように大切に保管してください。

※イラストは全てイメージです。

※製品の仕様は改良のため予告無く変更されることがあります。

販売元
コーナン商事株式会社
大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号
MADE IN CHINA 20js-aug